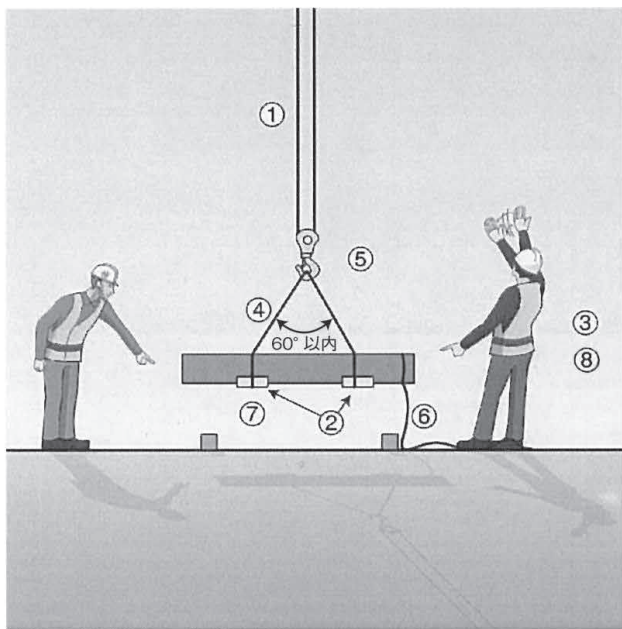


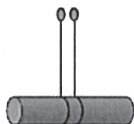
V-3-1. 玉掛け作業



- 1 ワイヤーに損傷はないか？
- 2 荷の角にはワイヤー防護があるか？
- 3 玉掛け者は資格を持っているか？
- 4 吊り角度は60° 以内か？
- 5 1本吊りをしていないか？
- 6 長尺物には介錯ロープを使っているか？
- 7 地切りをし、吊り荷の安定を確認しているか？
- 8 玉掛け作業責任者の指揮で作業しているか？

V-3-2. 玉掛け作業

1. 1本吊り
原則禁止

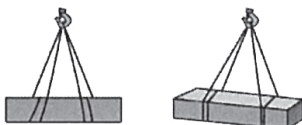


《介錯ロープの使用》

介錯ロープは長尺物を吊る際に使用する
介錯ロープを使って荷ぶれを防止する

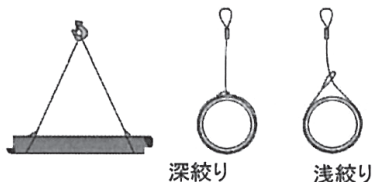
2. あだまき

長尺物を吊る時は、あだまきが
安全な吊り方である



3. 目通し吊り

目通し吊りは、ワイヤーを
極度に折り曲げるため、
望ましくない

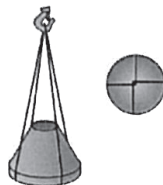


4. はかま

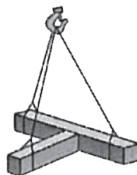
強度のあるバッグを使用



- 6) その他



- 3本吊り



5. ワイヤーもっこ

小物を吊る際に使用

